

令和3年度第3学年保護者進路講演会

- 1 日 時 令和3年9月8日（水） 15:10～16:10（70分）
- 2 目 的 いよいよ入試本番を迎える3年生の保護者に対して、入試に関する具体的な資料や動向、受験期に親として子供にできることや関わり方を提供することを目的とする。
- 3 講 師 駿台東日本教育事業部学校 支援事業グループ担当
常務執行役員 畑 迫 亮 様
- 4 題 名 演題『受験を迎えるにあたって 保護者の心構え』
- 5 対 象 第3学年保護者
- 6 参 加 者 105名
- 7 場 所 本校大体育館

○PTAにおける保護者進路講演会の実施について

本校では、例年、学年PTAにおいて、保護者向けに進学講演会を実施しています。

第3学年の保護者に対しては、これから受験に向かう生徒たちを保護者の方々がどのように支えていくべきなのか、多くの受験生を育て、豊富な経験をしている講師からのアドバイスをいただき、前向きに子どもたちと一緒に受験に向かっていく原動力となることができればと思い、企画しています。

秋田高校 進路指導部

○保護者進路講演会の様子

講演者 畑迫 亮 氏

20年ほど前から、全国のトップ高等学校において、生徒様や保護者様を対象に、大学受験に向けた心構えや準備、最新情報を提供してくれています。

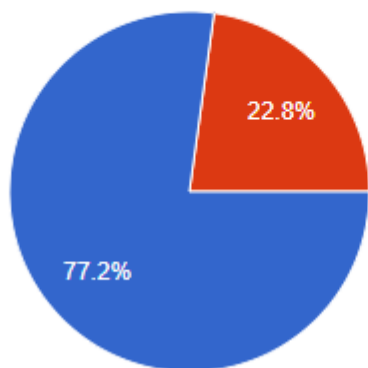
特に、第一志望をしっかりと見据える重要性を説く講演を行い、保護者から大変好評であるとともに、リピートの依頼がたくさんある方です。



○実施後のアンケート集計

「保護者進学説明会」（駿台）のお話はいかがでしたか。

57件の回答



- 大変参考になった
- 参考になった
- 参考にならなかった
- 参加していない

○実施後のアンケート（自由記述）

- ・頑張るのは子どもだけで親は何もしてやる事ができないと思っていましたが絶妙な距離感で助けてやったり、時には子どもをリスペクトすることも大切だと知り意義ある説明会でした。ありがとうございました。
- ・子供を信じ、第一志望校受験の決意を親として最後まで応援する。親の心構え、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・堅苦しい話かと思っていましたが、分かりやすい説明で、受験のことを理解することが出来ました。親も一緒に頑張っていこうと励みになりました。
- ・初めての受験で、本人の希望を尊重すべきかと悩んでおりました。合格する事ばかりに気を取られがちですが、後悔させない選択を後押ししたい、この点を私も貫きたいと思いました。子ども達が挑もうとしている世界を知ることが出来、改めて頑張っているなと思いました。
- ・受験に対する心構えができた。子供と共に親も頑張ろうと思った。
- ・親の世代の受験と今の受験では、かなり様子が違っていることやこれからの過ごし方について知ることができて参考になりました。
- ・目標を下げさせない、模試の結果を気にしない、凡ミス無くす、リスニング大事、国語頑張る!大変参考になりました。
- ・本人の行きたい大学に受験させます。まずは出願しないと、スタートラインにたてませんよね。講師の方のお話は保護者の迷いに寄り添うお話で大変参考になりました。
- ・分かりやすいお話で、大変参考になり、励みになりました。受験生の親の心構えを教えていただき、親も一緒に頑張っていこうという気持ちになりました。
- ・共通テストが難化した場合、東京理一（工）クラスでも足切り点の下降はありえるでしょうか。模試をみる限り、センターとは著しく点数の取りやすさが異なっているように感じます。
※理一を目指している生徒は、共通テストが難しくなったとしても点数はあまり変わりませんので、下降することはあまりないと認識（多少は下がりますが）しています
- ・楽しいお話しで、あっという間の時間でした。
- ・講師の方が駿台であるためか、内容が東大に片寄っていた感じがした。高い目標を目指して受験に望むことは大切だと思うが、他の大学の情報も聴きたかった保護者も多かったと思う。特に東北大学を希望する生徒も多いと思うので、その方面からの情報提供がもっとあればよかった。
- ・様々なデータからの受験情報、親の心構えを教えてくださいました。これから受験まで子どもを見守っていこうと思います。
- ・受験期を迎えるにあたり、進学のプロの予備校の先生の講話はとても参考になりました。なかなか情報を得る機会がないため、入試にむけての対策や心構えを教えてください、これからの生活に役立てていきたいと思いました。
- ・お話は面白く、大変参考になりました。ただ、スライドの枚数が多すぎた印象です。時間も無くしかたなかったと思いますが、もう少しゆっくり見せていただけたら、より理解が深まった気がします。飛ばされたスライドも気になりました。ゆっくり見てみたかった…
- ・受験生本人の可能性を最大限に伸ばせるのは、親の先まで見通しての言葉や態度なのだと再確認できました。
- ・最大限の力を発揮できるようにサポートを最後まで頑張り抜く気持ちになれました。ありがとうございました。

- ・第一志望の出願の大切さがわかりました。まだまだ頑張らないといけない現状ですが、実現に向けて、支えていきたいと思いました。大変参考になりました。
- ・これから2月までの長いようで短い時間、見守りながら大切に過ごしたいと思いました。
- ・我が家は、難関大学の受験ではありませんが、つつい子供に対してやってはいけないことを言ってしまいました。改めて考えさせられました。今は、子供を信じて、なるべく寄り添って共感してあげようと思っています。
- ・我が家の息子もE判定真っ只中で、不安を覚えていたので、背中を押された気分になりました。3月まで、一緒に走り抜こうと気持ちが固まりました。
- ・大変参考になりましたが、もう少し時間に余裕があればもっと良かったかなと思いました。
- ・今更ながら私だけかもしれませんが、模試結果の見方を教わり、一つどういう視点でみればよいのかがわかって良かったです。
- ・資料が、これまでとは大きく異なり、小さな図表グラフも文字や数字がつぶれることがなくて、大変ありがたかったです。
- ・資料に添っての説明が分かりやすかった。親の過保護すぎない協力や子供の立場を理解し接することが受験に向けて大切だと分かった。
- ・限られた時間の中、沢山の情報を盛り込んで頂きとても勉強になりました。
- ・まず、お話がとても面白いです。ユーモアもまじえながら、しっかりと伝える事も伝える話術!!に感心させられながら、これからの期間の過ごし方を改めて考え直す良い機会となりました。
- ・この機会がなければお会いしてお話を聞くこともできなかつたと思うと、とてもありがたいことだと感謝しております。ありがとうございました。
- ・保護者がしてはいけないこと。自分が受験生だったときのことを思い出してください。と言われたとき…心から反省しました。
- ・受験生に言うてはいけないと分かっているのですが、子供の勉強に対する姿勢だとか生活面でいろんな状況があつてつい怒ってしまいがちになります。その時は一旦 資料の最後に記載されていた保護者と受験生の接し方を読んで我慢しようと思いました。
- ・親として、どのような心持ちで準備していけばよいか、多くのヒントをいただきました。子どもの力を信じる、少し広い視野で見ていく、という言葉が強く印象に残りました。ありがとうございました。
- ・今年度の受験の傾向を知る機会になりました。想像力と待つことが大事であるとわかりました。親として今までは目の前の状況で判断しこどもに伝えることが多かったように思います。こどもの理解者となり励ましていきます。
- ・親の世代との違いがわかりやすかった。子どもの第一志望を、しっかり最後まで応援したいと思いました。親も志望校を好きになるということ、大事なことだと思いました。話を聞いていながつたら、残り5ヶ月の間に、きっと一回は、「大丈夫?他のところ考えなくてもいいの?」とか、余計なことってしまったと思います。第一志望をうけないで、後悔させたくないと思いました。
- ・保護者としての心構え参考になりました。